

**第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会 結果報告**

第63回・第36回女子男子全日本学生ホッケー選手権大会

第 4 日

開催日時 11 月 4 日 ( 火 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

**【全試合結果】**

第1試合 女子	立命館大学	2	$\begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$	2	天理大学
9:20		延長 1	$\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$	0	
第2試合 女子	山梨学院大学	5	$\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 3 & -3 \end{pmatrix}$	3	東海学院大学
11:10					
第3試合 男子	立命館大学	3	$\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$	1	明治大学
13:00					
第4試合 男子	朝日大学	1	$\begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 1 & -4 \end{pmatrix}$	7	天理大学
14:50					

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{立命館大学 } 2 \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} 2 \text{ 天理大学}$$

$$\text{延長 } 1 \begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix} 0$$

<得点>

立命館大学 : 7分畑野、26分上館、83分畑野

天理大学 : 33分江村、41分高山

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり、立命館優位に試合は進む。果敢にサークルインするも天理大学の粘り強い守備により得点には繋がらない。7分立命館#5一谷のロングヒットを#6畑野が受け、丁寧なドリブルからリバースシュートを決めて先制点を挙げる。11分天理がPCを取得するも、立命館GK#1要石の好セーブにより得点には至らない。攻め続ける立命館は#11木原、#14佐々木がシュートを狙うも得られない追加点を得られない。26分立命館#19上館がスイープシュートを押し込み2-0とする。33分、対する天理#10江村がプッシュシュートを決めて2-1とし、前半戦を折り返した。

後半開始早々、天理がPCを取得。しかし立命館の堅い守備に得点には至らない。39分に再び天理がPCを取得するが、これも得点には至らない。立命館は粘り強い守備から攻め上がるも、41分天理はカウンターから#8高山が押し込み2-2と同点に追いつく。激しい攻防が続く中、58分、59分と立て続けに立命館がPCを取得するも得点には至らない。63分立命館がPCを取得。しかしこれも得点には至らず、2-2の同点で延長戦に突入した。

立命館のセンターパスにより延長前半戦が開始。75分天理がPCを取得。#15森がシュートを打つも得点には至らない。互いに得点することが出来ないまま延長前半を折り返した。

延長後半戦が開始。83分立命館がPCを取得。#6畑野のヒットシュートが決まり、立命館が決勝にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	荻田 和代		Fong Geng
		岩田 順充	リザーブアンパイア
サゼッションアンパイア	松村 満	サゼッションアンパイア	渡邊 道彦

第2試合

$$\text{山梨学院大学 } 5 \begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 3 & -3 \end{pmatrix} 3 \text{ 東海学院大学}$$

山梨学院大学 : 10分河村、32分河村、37分河村、40分狩野、66分河村

東海学院大学 : 41分鳥山、48分清水、51分山口

<戦評>

東海学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々、山梨学院大学#26河村が右からの回り込みでチャンスを作るがGK#1清水によりセーブされる。7分東海はPCを取得するも得点には至らない。10分山梨#26河村がゴール前の混戦の中押し込み、先制点を挙げる。互いに激しい攻防が続く中、27分、28分に山梨が連続してPCを取得するが東海の粘り強い守備により追加点を奪えない。32分山梨は#23狩野が右から回り込み#26河村が合わせ2-0で前半戦を折り返す。

後半開始早々#26河村が倒れ込みながらもプッシュで押し込み3点目を挙げる。40分#26河村からのパスを#23狩野がGKの足元に決め4-0とさらに点差を広げる。一点が欲しい東海は41分#26鳥山が押し込み一点を返す。勢いに乗った東海は48分#9清水がGKの前で転びながらもリバースで押し込み2点目を返す。51分東海#10山口のリバースシュートが決まり3点目を挙げ、追い上げを見せる。60分山梨はPCを取得するも得点には至らない。66分#26河村が豪快なリバースシュートを決め5-3とする。そのまま山梨が逃げ切り決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	梶田 賢二		小原 直也
		下島 多美子	リザーブアンパイア
サゼッションアンパイア	成田 健一	サゼッションアンパイア	木下 英貴

第3試合

立命館大学 3  $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ & & \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$  1 明治大学

<得点>

立命館大学 : 11分大橋、30分大橋、54分亀井

明治大学 : 58分佐々木

<戦評>

明治大学のセンターパスにより前半戦が開始。一進一退の攻防が続く中、11分立命館大学がPCを取得。#9大橋のドラッグシュートが決まり先制点を挙げる。追いつきたい明治も果敢に攻め、サークルインはあるものの得点には繋がらない。20分勢いに乗った立命館は20分#田中がリバースシュートを打つが、惜しくもポストに阻まれ得点には至らない。30分立命館がPCを取得。#9大橋のドラッグシュートが決まり2-0とする。立命館がリードして前半戦を折り返した。

後半が始まってからもお互いに攻撃の手を緩めず攻防が続く。38分に立命館#3津田がリバースシュートを打つが、ボールはゴール右側に外れ得点には至らない。明治もチャンスを作りたいが立命の連携のとれた守備に阻まれなかなか前に進むことができない。54分立命#17三浦が打ったボールを明治GK#1國友が一度はセーブするが立命#23亀井がリバウンドをスイープで押し込みさらに点差を広げる。58分明治がチャンスを迎え、#19佐々木がタッチシュートを決め一点を返す。その後も両チームともにゴールを目指す得点とはならず3-1で立命館が決勝に駒を進める。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	梶田 賢二		渡邊 道彦
	下島 多美子	リザーブアンパイア	Fong Geng
サゼッションアンパイア	松村 満	サゼッションアンパイア	穴井 孟司

第4試合

朝日大学 1  $\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ & & \\ 1 & - & 4 \end{pmatrix}$  7 天理大学

<得点>

朝日大学 : 60分佐橋

天理大学 : 10分石川、28分膳棚、33分石川、50分橋本、64分落合、66分小澤、68分瀧澤

<戦評>

朝日大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり、朝日は天理大学陣内に攻め込むが、天理の堅い守備により得点には繋がらない。10分天理#15石川のヒットシュートが決まり先制点を挙げる。11分天理がPCを取得するも、朝日の粘り強い守備により追加点を挙げる事が出来ない。一点を返したい朝日は、15分PCを取得するも得点には至らない。その後も朝日は果敢に攻めるもチャンスを掴めない。28分、対する天理はPCを取得。#8膳棚によるドラッグシュートにより追加点を挙げる。さらに、33分天理#15石川が得点して3点目を挙げる。天理がリードして前半戦を折り返した。

後半戦が開始。朝日は丁寧なパスワークから攻め込むも、天理の体を張った守備により得点には繋がらない。朝日はセンターリングで受けたボールを#9森がリバースヒットを打つが惜しくも枠を外れる。50分対する天理#12橋本のスイープシュートが決まり4-0とする。60分朝日#7佐橋がこぼれ球を素早く押し込み1点を取り返す。64分天理#6落合がスイープシュートを決めて点差を広げる。その後朝日はパワープレーに出るが、66分天理#14小澤が無人のゴールに強烈なヒットシュートを決めて6-1とする。68分天理#19瀧澤がプッシュシュートを決めて7-1とし、天理大学が圧勝し決勝へとコマを進めた。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	梶田 賢二		木下 英貴
	苅谷 和代	リザーブアンパイア	野澤 達
サゼッションアンパイア	富山 喜正	サゼッションアンパイア	小原 直也